(+)

◎婦人の集いにはみんなそろつて出席しましよう………

時

七月一日

午前九時半…

所

藤田小学校体育館

義理も人情も、緑故も金も出して世直し、くにづくり

ぼくとあなたで、通せんぼ

さあさ選挙だ

出たい人より、

出したい人を

ハア……

ばっと咲かそよ、国の花 ここらあたりで、 民主ざくらも、もうはたち

どんと乗りだせ、

日本丸

船に帆上げて、海原千里

性根をすえて

さあさ

選挙だ

花のこころで すっきり

すっきりしゃんと

しやっきり

しやしやんとね

あの日あの時、

島倉干代子 三波 古賀 藤田まさと 若林 辰郎

春夫

甘い言葉に

ハア…

(以下くり返し)

民主日本の、名がすたる

みんなで植えた

かける気持で、投票所 明日のいのちを、

この一票に

的をハッキリ定めて

家族ぐるみで公明選挙

郡山市神明町一〇八 たけだ 六 朗

しかめて、

悔のない一票を行

物や属する政党などもよくた ぶ大事な選挙です。候補者の ので、こんどの選挙は、向う 参議院には解散がありません

政見をよく見、よく聞き、人 六年間の国政を託す議員を選

[十93号]

昭和40年6月15日発行

鈴木

発行人

編集人

印刷所

国見町公民舘

佐 藤 善次郎

字佐美印刷所

美一

月

さあ 町ぐるみ家族ぐるみで マト をはっきり定め

明るく正しい選挙を

十五年という記念すべき年で | 実行しましょう。普通選挙四○年、国民参政七 実行しましょう。 で婦人方に告ぐぐ

のぎをけずって運動中です。 れるため、各候補者は今、し の選挙が七月四日におこなわ

任期満了による参議院議員

一使しましょう。

第二回国見町婦人の集い 木川田、渡辺両先生招 V 7

生活改善グループ、PTAな「北にあるたばこ収納所の敷地級、未亡人会、農協婦人部、 | 商店の麻袋工場が、小坂踏切 2、未亡人会、農協婦人部、国見町には婦人会、婦人学

明るく正しい選挙の歌

す

0

\$

ŋ

音

頭

補作詞 作曲

るみで、明るく正しい選挙をあります。町ぐるみ、家族ぐ いいたします。 て、ご婦人方が何の気がねな ますので、当日の盛会さが思してくださることになってい旨に赞同され、全面的に協力 よう、皆さまのご協力をお願 す。しばらくぶりの休日とし 振りで、 どをするため、左記要項によ 期における健康管理の勉強な いやられます。 公民館でもわたくしたちの趣 ます。町の選挙管理委員会や 挙の実現をはかり、且つ農繁 一堂に会し、明るく正しい選を目前に控え、町内全婦人が ます。今回参議院議員の選挙 の向上や福祉の増進に向って いろいろの事業活動をしてい んあり、それぞれ婦人の地位 ど婦人の属する団体がたくさ 七月一日は昔からの大早苗 休養と教養をはかられる 「婦人の集い」をいたし 町を挙げての休日で 〇主催 〇行事 〇講師 〇後披

国見町公民館 国見町選挙管理委員会 国見町明るく正しい選 国見町未亡人会 国見町農協婦人部

交通事故、暴行その他いろ いろの犯罪で被害を受けた

わたくしたちが、詐欺、

国見町婦人学級連絡会 国見町婦人会連絡会 藤田小学校体育館

正 L い

審査の

目

不起訴にも光らせよう

くじ」で選ばれた十一

一人の

举推進協議会 国見町生活改善推進員

桜が丘病院長 委員長木川田明代先生

渡辺 光先生 福島県選挙管理委員会

7

誘致工場第二号

七月一日午前九時半

4 3 2 1

映 うたと踊り お話 お話

画

婦人と健康 婦人と政治

にかかった。

かないというとき、わたく の事件を裁判にかけてくれ かできません。検察官がそ ます。犯人を裁判にかける ということは検察官だけし けるか、かけないかを決め に訴えでます。検察官はこ 場合、これを警察や検察庁 れをよく調べて、裁判にか

どうしても納得がい

とはよくわかっていますが きるきまりになつているこ

検察官が裁判にかけてく

に住宅二戸を建築して専売公

これはわが国見町が小野町

渡辺先生 木川田先生

たばこ収納所に麻袋工場

商店の麻袋工場が、小坂踏切

> 袋)の修理をしている。 ○名、女二五名で麻袋 とになっている 了次
>
> 次
>
> 大
>
> 大
>
> 正
>
> 式
>
> の
>
> 手
>
> 続
>
> き
>
> を
>
> と
>
> る
>
> こ 払下げをするもので、建築完 産の交換)これを石原商店に 所の土地建物を受取り(不動 社に提供し、その代りに収納

同工場では目下従業員男一

(南京

全国なみの普及率

わ が 町

0

水

道



ん使う社会はど文化の程度が 作三月で流三・七パーセント で、からでは、1000年に、 ると下から! 立ち、生活を豊かにします。 したがって、よい水をたくさ 青秋北宮 森田海城 道 水は、われわれの健康を守 産業を起こし、消火に役 四四四五五六二 三五五二六六番 ・・・・・・ に三二九三七五です。

給水戸数

67F

37

44

63

1,346

○レールに石などおくことは ○近みちでも線路をとおるこ ○線路や陸橋であそぶことは

大きな事故のもとになりま とはやめましょう。 やめましょう。

給水人口

430人

185

190

352

ましょう。

6.857

代表者名

佐藤善次郎

赤井畑直衞

○ふみきりではかならずとま

って左右をよく見てとおり すからぜったいしない。

栄

佐藤

吉田 幸平

阿部 栄作

知事の認可をうけ、保健所の道は次のとおりで、これらはます。尚現在国見町にある水 で大体全国なみというところ の一日も早からんことを祈り ですが、全町民そろって、き 年三月で六四・五パーセント れいな水道の恩恵を受ける日

おとなも子どもも次のことを線(ふくせん)になります。 よく守って鉄道事故をなくし しましよう

心配だけはなくなった。

鉄道事故をな

わが国見町では、昭和四十

国見町の鉄道もいよいよ複 でのガードができ、踏切事故のか、山根に二つ石母田に一つか、山根に二つ石母田に一つくられたほの うな陸橋が二つつくられたほ きてみんなをよろこばせてい

立 注意しましょう。 体交差五

○列車のとおったあともゆだ んしないで反対がわをよく

設

小坂簡易水道

国見町上水道

泉田

山崎

泉田下#

たり、立体交差が五か所もで

国見町内の鉄道複線化にあ

策として工場誘致条例をつく れない場合(これを不起訴 わが町では、町勢発展の一一て大いに発展してもらいたい

貨獲得に大きな役割をはたし 七十余名の従業員を擁し、外 さき頃駅前にできた陸商会は を与えることになっている。 工場も、誘致工場氷二号としているが、こんどの石原麻袋 に対しいろいろの保護や便宜 り、新たに工場を建てるもの

の従業員を置く予定である。 手続きがすみ次

次工場の拡張 横浜方面に送っている。売買 整備をし、完成後は一〇〇名 これを大型トラックに積み、 六~八千枚の麻袋を修理して 毅氏の話によれば、現在一日 ものである。尚工場長植田正

……検察審査会のはなし…… まで裁判を受けることがで 判にかけられた事件は三度 ず、わたくしたちはあくますべて国民がもっているは でも正しい裁判を受ける権 か。いいえ、国家の主権は ければならないのでしょう したちは、泣き寝入りしな 利をもっています。一度裁 わたくしたちはあくま 民が監視する制度を検察審 察官のしごとのやり方を国 よう、検察官を監督する検 得いかないというとき、こ できます。このように、検 **事正に申し入れすることが** を判断し、場合によっては ったことが正しいかどうか 事件の真相をよく調査して す。検察審査会では、その れを検察審査会に申しでま といいます)どうしても納 その事件を裁判にかける 検察官が裁判にかけなか

中から老若男女を問わず「員の選挙権を有する国民の 査会というのです。 検察審査会は、衆議院議

福島検察審査会は

福島市新浜町一-四四 電話 ③ 二一五六番

相談されるようおすすめい方は、どしどし申立て、ご方は、どしどし申立て、ごに納得のいかない被害者のの由ですから、不起訴処分ます。申立ても相談も無料 査会の管轄区域になってい、わが国見町は福島検察審 四ヶ所に検察審査会がありを行います。全国には二百譲決によってすべでの職務 たします。 検察審査会員の合議体で、

ではニュースとして天下に紹終始これを検分され、NHK 介した。町では近く保護条例

っている。

民館長さん、県北中学校で開講式、町長さん、公午後一時より青年研修所一

長先生などからはげまし

ついて、

文部省編集のテ 鈴木先生

> 帰りは高子沼の花を賞し 町を通り一路文知摺へ。

保護の万全を期する動きにな

をつくり、

他の文化財

と共に

四月十

日

日 日

雪

四月二十四日(土)

晴

と並んだ銀輪部隊は保原ねての打合せどおり整然

五月二十二日

 Ξ

晴

出席六十二名

「今年の異常天候と農業

について改良指導所長

出席五十九名

青年のエチケツト」

四

カュ

所

7

季

節

保

育

所

「母と子の

二十分間読書」 をき <

思わせる五川二十

として感慨を新たにするも 鳩十先生のお話をきいたこ

外からぬけ出させることを

目的としているとのことで

分の読んだものに母は感動

時でも母を独占し、

自

してくれた、これが子ども

うものです。 通して果してもらったとい りし日の夢を子どもの手を 書を楽しむ、又母親の若か

娘時代、

種々

とのことでし

お話が進むにしたが

〇大木戸季節保育所

阿部

雪枝

すびつきを目的としている

読書を通しての内面的なむ

くいまでに表現し、

児童数

六三名

責任者

八島福太郎

分五学年 分三学年 十二 学年 **才一学年** 鳥 内谷西 前

十六学年

菅岡 六〇名

īF.

佐藤善右工門 首野 佐藤 佐藤

成 利吉 夫

くすなおに、純粋な目で物 女性特に母親の心理を心に

たじみ やさし

P

Aだより①

〇主なる事業計画 〇予算額 〇会員数

000E

補保給成施

完全給食設備

小坂小学校

父母と先生の会

2

教科書以外の本を

とのふれ合いまで進み、又 どもの声を通じて心と心の の劣等感をなくし、この子

、思っただけでもすてきな子と共にその感慨にふける

思っただけでもすてきな

情景ではないでしょうか。

でございます。

最後に、

地域小中学校P

の大家と深くうなずいたの 出る人柄はさすが児童文学 を感じとられる等、

思うに社会が複雑且つ多

ふれ合い、

大きくは人と人

の大作品を、

いま、

いとし

むことのできなかった外国 の事情から、どうしても読

生活力、意志力を作ること

忙で、

るほど、高い知性と豊かな忙で、無味乾燥になればな

TAでもこの運動を推進し

〇 役

員

佐藤善右エ門

成吉 俊雄

6 5

ブール監視…当番

六同五年のの

補導

青少年補導…休業中の

四三

年 年 华年

運動会に係奉仕 授業参観…毎月一回 勤労奉仕…環境整備

ていくことは、子どもの新

子どもが小さ

つきを基本として、人間疎活の内面的な親と子の結び

てくれる母を、

自分の

かた

受験勉強の合い間に、

をやしない、

更に親と子の

児童数

佐藤 加代

〇学年会長

蓬田ゆり子 一五名 ○徳北季節保育所

新七

佐藤 二八名

佐野

祐子

泉田下 泉田中 泉田上

清武徳飯次市

わらに持つ」

ということで

五分ぐらい、

頭の休養に読

家庭人として、又母

、権雨のはしりを時折小雨模様の

民館等のはからい二十分間読書運動 会を得ました。 ある講演をきく機 も数人出席し意義 参加者に、 北 したち国見町から て居りましたが、 この「母と子の 映画や本も見 わたく

島県立凶書館長椋 提唱者である鹿児 この度実際にその 勉強、 盾が多く、

実の姿です。

間読書」

はこうした家庭生

になって、

自分を相手にし

先生が提唱する「二十分

館に、北日本図書 館大会があり、 八日仙台市県民会 、北海道からの のがありました。 子どもの尻をたたくのが現 ų

勉強で、家に帰れば親も、ではなく入学試験のための ちです。又教育の面でも予かく家庭生活からはなれが ずみなどの影響により、と寄せたための家庭経済のひ 面消費文化の波が家庭に押 働力不足のしわよせ、又一 母親は、家事労働はもちろ 現代の家庭環境における 他産業の発展による労 学問本来の勉強 分間ぐらい、 す。お話の大体をまとめて みますと、この方法は二十 な声で、

勉強と念仏のように どもの力に合ったもの、感のこの場合、読み物は、子聞くという簡単な方法です 読むのを、 読む。 で、じっと耳をかたむけて 母親がかたわら

えると「自分と同じ気持ち 解し、子どもと同じ心にな ってその情緒にとけこむ。 動深いものを毎日つづけて このことは子どもから考 子どもの読むものを理 特に母親がかたわら に成長する。 そこに一すじの情緒が入り によって意志が強くなり、 になるのです。長期の読書 人間がより豊かに立体的

動に加わっているというが 学校合せて十一 山市では、 運動に参加し、愛媛県の松 現在鹿児島県では、小中 高校生がこの運 一万人がこの ż,

てのものから美しい人間性 対する一つの防衛手段 ビの影響による読解力の弱 した運動は、ラジオ、テレ 人間性が必要なので、 いわゆるマス・コミに こう じてペ きく伸ばしていくものと信 鮮な豊かな可能性をより大

(羽賀えい記)

監同会庶同同副会 会 養 計務 長長

問題につき12・1月

会員研修…教育諸問題 部落懇談会…家庭生活

〇会員数

六二、四九四円 八五名

(以下次号)

京子

につき4

Ξ

9 8

PTA講座:

新

年の

ってきた「太々神楽」があり内谷春日神社には昔から伝わ のである。ところが最近農家 毎年秋の例祭には神前で奉 文化財を護ろう 一般に公開していたも 内谷の太々神楽を顕 このまま放置すれば、 彩

の手不足のため、特にこれを 文化財が絶滅してしまうおそ ず保存会をつくり、春の例祭 他保護の方法を講ずるため先 有志者は後継者の養成、その れがあるというので、部落の 惜し

町 公 民

。このときは県文化 | 育所は、ことしも六月一日相

親しまれてきた農繁期季節保税しまれてきた農繁期季節保 更に徳北(徳江観音境内)に徳南、塚野目、大木戸の外に前後して開かれた。ことしは も設けられた。

四二〇円(主任四五〇円)を 歌望があれば、いつでも接助いなくて当局は困っている。 う期待している。 がなくて当局は困っている。 う期待している。

ている。保母に対しては一日担して一切の経費をまかなっ兄は一日二〇円の給食費を負

幼児一人当り二三○円の補助町ではこれらの施設に対し を出すことになっており、父

門の補助もなく、ただミルク

幼児数

○部落委員長

小

佐久間直次 一八名

引地 春恵

の無償配布があるだけである

町としては地元部落からの

市郎

る よい施設



われらは、かく学ぶ ******青年学級日誌

と希望」

東京オリンピ

ツクのスライドを見たり

本年一月十五日行われ

帯びたりくわえたばこで みんなで考えた。酒気を クダンスを反省しながら」について前回のフオー えることが大切だ。今晩 ものについて一つ一つ考 ットといっても範囲は広 の指導を受ける。エチケ キストを使い、

五月十日 (月) 强

フオークダンス、こんば

んは福島のダンス協会の

る。

出席六十二名

は絶対踊らないことなど

今晩の学習課題は「青年四月十四日(水)会

「ダンスとエチケツト

生から「正しい農薬の使

い方について指導を受け

農業改良指導所の加地先

委員の任命、

記念撮影を

い。その中から具体的な

五月七日(金)

晴

して午後四時無事帰る。 ビニールハウスを見学 伊達町の養豚センター

参加者三十三名

った。

出席六十五名

映画もたいへん参考にな 根本先生のお話があった

一気象と農業」という

して解散する。

出席五十八名。

覚悟を新たにする。運営 のおことばをいただき、

くいかない。でもはじめ 固くして話し合いがらま しそうであった。 ての学習としてみんな楽 出席五十名

ないため、お互いに口を

四月二十九日(木)雨

出席六十六名 ほんとうに参考になる

正しいレクリエーション

のあり方っ

だ仲間づくりができてい て話し合いをする。 コンクールの録音を使っ たNHK「青年の主張」

ŧ

ことが多い

四月十八日(日)昼 フオークダンス 五月一日(日)晴 出席四十七名

あったのであるが、今では一国からは以前、相当の補助が きようはサイクリング 集合、午前八時出発、か 行三十三名、役場前に ○塚野日季節保育所

くれたので大助かり。

o 桑折町フオークダンス クラブの方が指導にきて ため今晩もダンスをする 忘れないうちに復習す

五月十六日(日)雨

出席六十三名

かかってたいへんだ。 び、でもこれではかねが

方が二人きて指導してく ださったのでみんな大喜

経営の改善、

ないで生活できる家庭づ のもの、こんなにねっし みんなの顔はしんけんそ 間関係の改善といろいろ れまでに一度もなかった んに話し合ったことはこ 結婚の条件を数えあげる 特に嫁さんが気がねし 生活態度の改善、 人

題点を一つづつ発表した くりという点で話はクラ 住宅の改 が惜しいくらいだった。 出席五十五名

映画を使っての話し合い五月三十日(日)曇 学習、 し合い、各代表者から問小グループにわかれて話 いう三巻ものを上映し、 一結婚の条件」 ٤ ん楽しく、時間のたつの やってくれたのでたい t

青年団の先輩の人がよく はじめ少しまごついたが で習った曲目を順次復習 新しいレコードを買って ないで相互練習をする。 いうことで、講師を呼ば ただいたので、これま

六月九日(水) ライドを使っての学習、 なかなかおもしろい。 フオークダンスの復習と 「栄養と休養」というこ 暗

らず十八名の学級生が出ものすごい雨にもかかわ をうけたことはたいした 事春日先生の熱心な指導 席し保健婦光野先生、 出席五十五名

六月六日 (日) 雷雨 だった。 イマックスに達したよう

兼治

īΕ

会役 大木戸小学校PTA 長員

佐藤

EE

父兄対策 (二·三月)

書同会同副 会 記 計 長 佐藤 仲野 山口トキョ 吉川

○部落委員長 貝 田 渡辺 幸雄

後鴨鴨田田 安藤 黒田 佐関渡藤口辺 富塚 赤齿野

栄

○各部委員長 山 大 高 光 木 明 根 戸 城 寺 導健食人設 菊松浦 慶雄 良一 長明

渡辺 幸雄 松浦 長明

菊志村 慶 良雄 一

○学級委員長